

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区鍛冶町1丁目5番1号

団体名 西日本シティ銀行 北九州総本部

代表者 吉野 浩実

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

| | | |
|-------------|---|---------------------|
| (ふりがな) | にしにっぽんしていぎんこう きたきゅうしゅうそうほんぶ | |
| 団体名 | 西日本シティ銀行 北九州総本部 | |
| (ふりがな) | よしの ひろみ | |
| 代表者氏名 | 吉野 浩実 | |
| 所在地 | 市内事業所 | 北九州市小倉北区 鍛冶町1丁目5番1号 |
| | 主たる事業所 | 福岡市博多区博多駅前3-1-1 |
| 事業概要 | 中小企業に対して金融総合サービスの提供 | |
| 企業・NPO法人等の別 | 企業 | |
| 業種（企業のみ） | 金融業、保険業 | |
| 従業員数（企業のみ） | 301人以上 | |
| ホームページの有無 | 有 | |
| ホームページURL | https://www.ncbbank.co.jp/ | |













連絡先

| | |
|---------|--|
| 担当部署 | 北九州総本部 |
| 担当者 | 竹久 安広 |
| 電話番号 | 093-511-0926 |
| メールアドレス | E-mail: yasuhito.takehisa.0190@ncbbank.co.jp |

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

| No. | チェック項目 | 分類 | 関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です | 関連する主なゴール・ターゲット | | | 具体的な取組内容 | 最も関連性のある ゴール・ターゲット | 最も関連性のある 「北九州市SDGs 未来都市計画」 の指標や取組 |
|-----|--|-----------------------|--|---|---|---|---|-----------------------|--|
| 1 | 温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。 | 環境 (CO2削減) | |  |  |  | ・毎年5月～10月クールピズを実施により、室内温度28℃に設定する等して温室効果ガスの抑制に取り組んでいる。・太陽光発電、雨水利用、LED照明、省エネ空調等のエコ設備を備えた「環境配慮型店舗」への建替えを進めている。(2021/3末現在：26店舗) ・事業活動を通じたCO ₂ 排出量の把握に努めると共に、環境負荷の軽減に向けた活動を推進、2020年度におけるCO ₂ 排出量を2013年度比46.6%削減。 | ゴール | 指標 |
| | | | | 7.2 | 9.4 | 13.3 | | ゴール13 | 経済(2)④ |
| 2 | 事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。 | 環境 (廃棄物削減) | |  |  |  | ・紙、段ボール、空き缶・ペットボトル等、リサイクルできるものの分別を実施している。 | ゴール | 指標 |
| | | | | 9.4 | 12.3、12.5 | 13.3 | | ゴール12 | 環境(2)② |
| 3 | 事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。 | 環境・社会 (サプライチェーン管理) | |  |  |  | 紙の使用量を減らす為にペーパーレス化を推進している。 | ゴール | 指標 |
| | | | | 10.2 | 12.2 | 13.3 | | ゴール13 | 経済(2)④ |
| 4 | 商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。 | 経済・社会 (技術向上) | |  |  |  | 該当なし (自社の事業活動において、当該項目は該当しない) | ゴール | 指標 |
| | | | | 8.2 | 9.5 | 12.5 | | ターゲット | 具体的な取組 |
| 5 | 環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。 | 環境・経済・社会 (商品開発) | |  |  |  | ・「SDGs応援ローン」・「環境私募債」の引受け・「再生エネルギー発電事業」への融資等を通じて環境に配慮した商品やサービスの提供を行っている。 | ゴール | 指標 |
| | | | | 7.2 | 9.4 | 13.3 | | ゴール7 | 経済(1)① |
| 6 | 長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。 | 経済・社会 (労働環境整備) | |  |  |  | ・従業員に対して経営方針、就業規則を周知徹底するとともにテレワークの導入等良好な労働環境の整備に取り組んでいる。 | ゴール | 指標 |
| | | | | 3.4 | 5.5 | 8.8 | | ゴール8 | 社会(3)① |
| 7 | 年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。 | 社会 (ジェンダー平等) | |  |  |  | ・女性の管理職が過去10年間で約3倍に増加、女性活躍の場の提供や多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。 ・充実した制度で仕事と家庭の両立を支援している。 ・NCB女性塾の開催 →ロールモデルとの意見交換や異業種交流等を通じて、女性ネットワーク形成を支援している。 | ゴール | 指標 |
| | | | | 5.5 | 8.5、8.8 | 10.2 | | ゴール8 | 社会(1)② |
| 8 | セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。 | 社会 (ハラスメント防止) | |  |  | | ・ハラスメントに対する相談窓口を設置する等して、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。 | ゴール | 指標 |
| | | | | 5.1、5.4 | 8.8 | | | ゴール8 | 社会(1)② |
| 9 | 疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。 | 社会 (健康経営) | |  |  | | ・感染症の拡大を防止する為テレワークや時差出勤などの対策を実施している。 | ゴール | 指標 |
| | | | | 3.4 | 8.8 | | | ゴール3 | 経済(3)① |
| 10 | 全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。 | 経済・社会 (人材育成) | |  |  |  | ・自社にとってあるべき人材像を明確に定義し、人材育成のためのOJTとOFF-JTのプログラムを用意している。 ・「デジタルに強い人財」や「専門的かつ高度な相談に応じることのできる人財」を計画的に育成している。 | ゴール | 指標 |
| | | | | 4.4 | 8.2、8.6 | 17.17 | | ゴール8 | 経済(2)② |
| 11 | 反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。 | 社会 (不正防止) | |  | | | ・反社会的勢力に対する基本方針を策定し、従業員に周知している。 | ゴール | 指標 |
| | | | | 16.1、16.3、16.5 | | | | ゴール16 | 社会(2)① |
| 12 | 自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。 | 経済・社会 (持続可能性) | |  |  |  | ・SDGsへの取組みを当社グループで一元的に推進する為の専門部署「SDGs推進室」を新設。 ・ESG要素を考慮した事業性評価の導入。 →お客様のESG/SDGへの取組みを評価する事業性評価モデルを導入。 | ゴール | 指標 |
| | | | | 11.b | 12.6 | 13.1 | | ゴール12 | 経済(4)① |

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和 3年 9月 10 日

団体名 西日本シティ銀行 北九州総本部

私たちは、SDGs の内容を理解し、SDGs の達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

西日本フィナンシャルホールディングスグループは、グループ経営理念に基づき、地域の発展とグループ企業価値の向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

| 達成を目指す分野に「○」 | | SDGs 達成に向けた重点的な取組 | 指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。 | | 最も関連性のある「北九州市SDGs 未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。 |
|--------------|---|---|--|------------------|--|
| 経済 | ○ | ・お客様のSDGs への取組みを「SDGs 私募債」などの商品を通じて支援する取組 | 指標 (KPI) | SDGs 関連商品の取組件数 | 指標 |
| 社会 | ○ | | 目標値 | | 経済 (4) ① |
| 環境 | ○ | | 2023年 | 2020年度：約100件 | 具体的な取組 |
| | | | (その他の場合) ()年 | ↓ 2023年度：200件 | |
| 経済 | | | 指標 (KPI) | | 指標 |
| 社会 | | | 目標値 | | |
| 環境 | | | (その他の場合) ()年 | | 具体的な取組 |
| | | | | | |
| 経済 | | | 指標 (KPI) | | 指標 |
| 社会 | | | 目標値 | | |
| 環境 | | | (その他の場合) ()年 | | 具体的な取組 |
| | | | | | |

記載について

- ・ 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 西日本シティ銀行 北九州総本部

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

| 取組名 | 具体的な取組内容 |
|---------------------------|--|
| 9 北九州マラソン事業 (ボランティア活動) | 1万人を超えるランナーが安全快適に大会に参加し、北九州市の魅力を感じていただけるよう、「おもてなしの心」でランナーのサポートを継続的に参加している。 |
| | |
| | |
| | |

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。